

1. 科目名(単位数)	人体の構造と機能及び疾病（2 単位）	3. 科目番号	GELA1112 GELA1333 GELA1312
2. 授業担当教員	尾山 木綿子		
4. 授業形態	講義、ディスカッション、ならびに意見発表	5. 開講学期	春期／秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	この講義は、総合社会科学としての医学の側面についても触れ、生活の質（QOL）を豊かにする保健・医療・福祉・心理のあり方についても学び、福祉専門職者・心理専門職者として要求される最低限の医療、医学の知識の習得を目標とする。さらに、最新の健康情報の検証も行う。 具体的には、 ●心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害の概要について、人の成長・発達・老化や日常生活との関係を踏まえて理解する。 ●生活習慣病とその予防について、健康増進の正しい方策について理解する。 ●国際生活機能分類（ICF）の基本的考え方と概要について理解する。 ●リハビリテーションの概要について理解する。		
8. 学習目標	1. 人のライフステージにおける心身の変化と健康課題について理解する。 2. 健康・疾病の捉え方について理解する。 3. 人の身体構造と心身機能について理解する。 4. 疾病や障害の成り立ちおよび回復過程について理解する。 5. 公衆衛生の観点から、人々の健康に影響を及ぼす要因や健康課題を解決するための対策を理解する。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポ ート課題	疾病や障害の成り立ちおよび回復過程の講義より、1つの疾患を取り上げ、福祉、養護、保健、保育、心理などのそれぞれの立場から、どのような支援を構築すればよいかの検討を加え、発表できるように準備しておく（全員が11回目の授業内で発表）。また、公衆衛生の視点より、自分自身の生活習慣において改善すべき環境要因にふれながら、まとめた内容をレポートとして作成し（1200字以内）、最終講義の中で提出する		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新・社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 1 医学概論』中央法規		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1. 心身の機能と身体構造を自分の体と日常生活に照らし合わせてできるようになったか。 2. 生活習慣病の理解と予防を考察できるようになったか。 3. 少子高齢社会におけるリハビリテーションを理解し、必要性を説明できるようになったか。 4. 厚労省が推進する高齢者の QOL の基本的な考えを理解できるようになったか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度や学習状況、レポート、期末テスト等を総合して評価する。 授業への参加度 30%、レポート 30%、期末テスト 20%、発表能力 20%]		
12. 受講生への メッセージ	本科目における履修と国家試験における対策も含めた講義内容となります。健康をキーワードした身体の構造や機能について、単に最終的な解答を記憶するのではなく、そこに至る個々の条件を考慮しながら考えることに重点を置いています。疾病や障害を担う人への関わりについて、どのような支援が個人にとって適切であるかを様々な見解から考察していけるようにします。参加型として発表の機会を十分に確保している形式となります。		
13. オフィスアワー			
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション 人のライフステージにおける身体・精神の変化と課題① ・各発達段階における心身の変化や特徴	事前学習	学習ノートを準備し、シラバスを熟読する。 教科書の各ライフステージ上の心身の特徴について読んでくる
		事後学習	各ライフステージ上の心身の特徴についてまとめる
第 2 回	人のライフステージにおける身体・精神の変化と課題② ・ライフステージにおける健康課題	事前学習	ライフステージの変化における健康課題について読んでくる
		事後学習	ライフステージの変化における健康課題についてまとめる
第 3 回	健康と疾病の捉え方① ・疾病と健康の概要 ・第一次～三次における予防医療	事前学習	疾病の発生要因と罹患機序について教科書を読んでくる
		事後学習	疾病の発生要因と罹患機序についてまとめる
第 4 回	健康と疾病の捉え方② ・健康障害と急性期～回復期の特徴	事前学習	健康障害発生時～リハビリ回復過程について、教科書を読んでくる
		事後学習	健康障害発生時～リハビリ回復過程についてまとめる
第 5 回	人体の身体構造と心身機能 ・身体の構成部位の名称 ・各臓器の構造と機能（解剖生理）	事前学習	人体部位の名称について教科書を読んでくる
		事後学習	人体部位とその機能についてまとめる

第 6 回	疾病や障害の成り立ちおよび回復過程① ・脳血管循環器系統	事前学習	教科書の脳血管障害、心疾患、高血圧について読んでおく
		事後学習	脳血管障害の種類や特徴などについて 400 字程度にまとめて発表できるように準備しておく
第 7 回	疾病や障害の成り立ちおよび回復過程② ・呼吸器、内分泌系統	事前学習	教科書の内分泌、呼吸器疾患について読んでおく
		事後学習	慢性呼吸器疾患の種類や特徴についてまとめて発表できるように準備しておく
第 8 回	疾病や障害の成り立ちおよび回復過程③ ・消化器、腎、泌尿器系統	事前学習	消化器、腎泌尿器系疾患について教科書を読んでおく
		事後学習	排尿障害の症状や腎疾患の特徴についてまとめ発表できるように準備しておく
第 9 回	疾病や障害の成り立ちおよび回復過程④ ・小児（先天性、虐待）、産婦人科系統	事前学習	教科書の小児先天性疾患について読んでおく
		事後学習	小児先天性疾患と医療的ケア児について発表できるように準備しておく
第 1 0 回	疾病や障害の成り立ちおよび回復過程⑤ ・身体機能障害と精神障害	事前学習	知的障害と発達障害について、教科書をよんでおく
		事後学習	1 つの先天性疾患について、症状や特徴をまとめて発表できるように準備しておく
第 1 1 回	疾病や障害の成り立ちおよび回復過程⑥ ・課題研究の発表	事前学習	今まで学習したことをまとめ 1 つの疾患について発表できるように準備しておく
		事後学習	発表した疾患について、病態生理、症状、治療、予後などの特徴について考察する
第 1 2 回	公衆衛生① ・公衆衛生の概要と健康増進 ・予防医療における保健対策	事前学習	教科書第 7 章を読んで、公衆衛生の考えを読んでおく
		事後学習	公衆衛生の考えをまとめておく
第 1 3 回	公衆衛生② ・環境と健康変化 ・生活習慣と健康課題	事前学習	環境とは何か、健康との関連を踏まえて教科書を読んでおく
		事後学習	自分の生活習慣より改善すべき環境要因についてまとめ、レポートを作成し（1200 字以内）、提出する
第 1 4 回	公衆衛生③ ・感染症と慢性疾患における社会保障制度	事前学習	生活習慣と生活環境の関連について教科書を読み考えてみる
		事後学習	母子保健対策、成人・高齢者対策、精神保健対策、感染症対策についてまとめておく
第 1 5 回	まとめ	事前学習	これまでの学習ノートを振り返り、学びと考察から期末試験用の予備問題を作成する
		事後学習	期末試験の予備問題を解く
期末試験			